

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	環境農業経営論 [Sustainable Agriculture Economics]				
科目コード	710033	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	澁谷 義夫				
授業概要	<p>21世紀は環境の世紀といわれ、全ての産業で環境への負荷を低減させる取り組みが求められている。農業分野も例外でなく、今後の農業は環境への負荷を減らしながら持続的な農業経営をいかに確立するかが課題である。</p> <p>本講義では環境への負荷を低減させる農業を環境保全型農業と位置づけながら、その経営を形成させる方法論を各地の事例展開を踏まえながら説明していくこととする。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境保全型農業経営の形成: 環境保全型農業とは 2 環境保全型農業経営の形成: 農薬・肥料投入の現状と課題 3 環境保全型農業経営の形成: 環境保全型農業経営体の動向 4 環境保全型農業経営の理論: 農業の生産性と環境(1) 5 環境保全型農業経営の理論: 農業の生産性と環境(2) 6 環境保全型農業経営の理論: 農業政策への効果 7 環境保全型農業経営への取り組み: 各地の事例(1) 8 環境保全型農業経営への取り組み: 各地の事例(2) 9 環境保全型農業経営への取り組み: 各地の事例(3) 10 環境保全型農業経営の収益: 収益評価 11 環境保全型農業経営の収益: 価格形成と所得形成 12 環境保全型農業経営の収益: 収益成立への要件 13 環境保全型農業経営の収益: 収益拡大へ向けて(1) 14 環境保全型農業経営の収益: 収益拡大へ向けて(2) 15 まとめ 				
授業の到達目標	<p>環境保全型農業経営が成立する意義を環境問題との関わりで学習することを目標とするが、その際、環境保全型農業経営の方法論を理論と実態の両方から理解させていく。</p>				
評価方法	<p>試験の他に出席点、中間レポートを加えて総合的に評価する。</p>				
テキスト	<p>講義ごとに資料等を配布する。</p>				
参考書	<p>環境保全型農業の成立条件 胡柏 農林統計協会(2007)</p>				
備考					